e-BEEF NEWS From A North Pasture

e-ビーフNEWS 北の牧場から

月刊情報誌
No.130

発 行
特定NPO環境リサイクル肉牛協議会
〒080-0351
北海道河東郡音更町字然別
北5線西25番地2
FAX 0155-40-7301

October 2024

十勝は秋

空気がスッキリ　澄み切った好天が続いています。十勝を囲む日高山脈がクッキリ見え少し黄ばんできた大地が映えてきます。10℃以下にもなる朝方、ブルっと震え寒さが来たなと思えます。木々の紅葉が日に日に増して、赤色も目立ってきました。あれだけ伸び盛りの道端の草も霜にあたりうなだれています。

牧場の最大のイベント　デントコーン収穫が終わりました。昨年より1本多く大きなスタックサイロが3本でき2割程度増産です。今年は有機始めた畑が多く、出来不出のばらつきがでて、移行期初年度のカバープランツをやった畑の一部収穫は、雑草で壊滅的でした。それでもカルチ（中耕）をいれた畑が健闘してくれて増産につながりました。この後、堆肥撒き来年の畑の準備に入ります。町営牧場の放牧した牛たちも戻ってきます。

活動のお知らせ

10月31日（木）	**第14回 北海道肉専用種枝肉共励会　全道の肉専用種が集結します**
10:00～	北海道畜産公社 十勝工場
10月31日（木）	**環境リサイクル肉牛協議会　第21回資源循環型肉牛生産シンポジウム2024**　帯広畜産大学 講堂
13:30～17:30	基調講演「脱炭素社会における資源循環型肉牛生産の意義と役割2～耕畜連携における堆肥生産を考える～」
	1. 基調講演「堆肥の機能性成分と作物生産への活用」　講演者：帯広畜産大学 教授　谷 昌幸氏
	2. 話題提供1.「北の牧場舎におけるe-ビーフの取り組み」
	3. 話題提供　藤森商会インデアン 満寿屋みちます　ほか
	先着100名様に特製　満寿屋のe-びーふカレーパン提供

NEWSばか読み

- 23年度就農者が過去最少4.3万人 60歳以上の減が最大 定年後選択で減9/2：いらしゃい
- 農水省 7月農業物価指数農機具が過去最高値 資材関連高値収まらず9/3：新規就農の壁
- 24年度上期 コメの輸出が過去最高3割増 牛肉も好調14％増円安で値頃感9/4：
- 農水省情報 新米調達競争が過熱気味9/5：消費減につながらねばいいが
- 24年コメ農家廃業が最多ペース9/6：価格上昇と真逆
- 農水省 環境保全型農業直接支払交付金の支払い実績が5％増8万6千ha9/7：実態は
- 総務省 7月家計調査 食品支出1.7％減 生鮮肉5％減 外食4.5％増9/7：外食へ
- 農水省 10年間の酪肉近の見直し着手 飼料自給や需要拡大基本に9/11：いまさら
- 鶏卵相場 高値で推移 暑さで出回り量抑制 外食月見商戦に影響9/12：かげる
- 環境省 クマ出没件数が最多ペース 人的被害増9/13：気を付けないと
- 農水省 環境直払い有機交付金2000円増（畑のみ）9/16：
- 厚労省 100歳以上が9万人9/18：まだまだ生きれる 邪魔かな
- 飼料価格の下げ見通し USDA豊作、為替円高9/19：ほんと 助かる
- 観光庁 訪日外国人のコト消費が増加傾向 農村誘客に期待9/19：まず国内人だろう
- 8月訪日客293万人同月過去最高 都市圏に集中9/19：暑いのによく来るね
- 和牛肉相場下落 コロナ水準に 輸入代替で交雑上げ9/20：消費構造変化
- 8月生乳受託0.2％減 都府県3.2％減 飼料配合比率変更影響9/20：比率が低下に
- 全農 配合肥料10～12月4850円下げ 下落も依然高水準9/21：耐えきれるか
- 中国 水産物輸入再開で合意　9/21：何が働いたか
- 農水省 アルゼンチン北部産の牛肉輸入検討着手9/27：
- 農水省 家伝の防疫措置指針 生産者にまず責任9/27：責任押し付け
- グリーンコープ共同体 規格外品の正品価格で猛暑出荷減農家支援9/18：取組評価
- 閣僚人事 農相に小里氏（鹿児島選出）9/30：さて

東京直近NEWS（9/29　Shi-REPORT）

ホルス

市況相場はもちあい状況からやや下げ相場。
産地相対相場価格@1100前後変わらず。
季節柄、カタロースほかスライス材の引合い問合せ増加。
冷凍パーツ、ロース、ウデは低調で余剰在庫あり。集荷状況は出回り頭数減少傾向も産地肌感では大きく変化ない印象。定期定量販売数量は維持も大きな追加やオーダー増の問合せは少なく、消費停滞感は強い。気温の低下からスライス材の問合せ増に期待したい。

経産牛

経産牛は出回り頭数減少傾向からガリ枝肉中心に強気価格維持。
パーツ全体大きな引合いは一旦落ち着き、赤身モモ中心に問合せあり季節アイテムのカタロースは問合せ増。
パーツ引合いのピークは脱した感あり。
挽材も大きな不足感は無いが、今後の出荷先細りから一定価格ならば引合い強いが、枝肉相場に見合った価格では興味弱まる。
慢性的な不足感はあるものの販売は低調。

1.日畜会報95巻3号(2024.8)
一般論文: ランダムフォレストを用いた画像解析形質および枝肉格付形質からの黒毛和種枝肉単価の予測(玉川雄太他、帯畜大)

ランダムフォレスト(RF)は機械学習のアルゴリズムで、予測手法での回帰分析を高速・高精度にする効果があります。北海道の枝肉市場出荷の黒毛和種13,046頭の画像解析形質と枝肉格付形質から枝肉単価を予測する試みにRFをPCに実装して回帰分析を行い、従来の回帰分析より高い精度で枝肉単価予測が可能と思われましたが枝肉のバランスや年代によりその精度は異なる可能性がありました。機械学習のRFが多元的現象の多い畜産業界に展開して生産量の向上、作業の効率化に貢献することが期待されます。

2.畜産技術831号(2024.8)
(1)技術情報1:黒毛和種肥育牛の糞・尿排泄量を予測するモデル(前田友香他、日獣生科大)

肥育中期以降の黒毛和種去勢牛119の代謝試験成績から月齢、体重、飼料成分、摂取量や温湿度指数、飲水量などの項目で重回帰分析により糞尿排泄量の予測モデルを作成しました。糞排泄量=乾物不消化率/糞乾物率*乾物摂取量、で構成され、尿排泄量=10.32-10.78*Log尿中窒素割合+0.008334*体重-0.2733*水分要求量、で推定できるモデルが示されています。

(2)技術情報2:肉用牛を対象としたメタン削減資材効果のon-farmでの検証法(及川康平、農食品技総研 乳牛精密管理G)

肉牛のあい気中のメタンを欧米のスニファー法では肉牛飼槽内のメタンガスの量的測定は不可能ですがCO2濃度比の測定は可能で、1日CO2排出量を生体情報から推定して分母とし、1日あたりのあい気メタンガス排出量を推定することが可能となりました。このことはメタン排出削減研究を大きく前進させました。

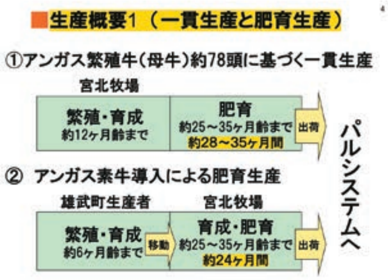
3.畜産技術832号(2024.9)
(1)技術情5:肉用牛品種の黒毛和種におけるゲノム情報を利用した近交度の評価法(西尾元秀,農・食品産技総研 食肉家畜モデル化G)

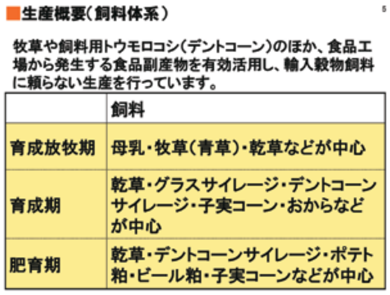
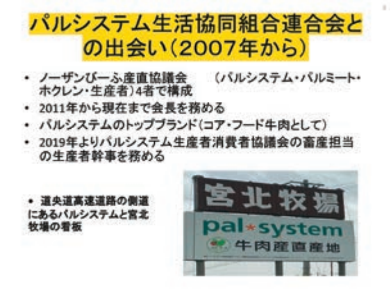
黒毛和種ではごく一部の優秀な種雄牛が集中的に利用され、最近では僅か15頭の種雄牛で全体取引の45%が占められており近交度が0. 1に上昇しています。近交度は理論上0～1の範囲にあり、上昇すると死産や不妊など生産性も低下します。近年のゲノム解析技術が進歩し黒毛和種のゲノム解析で多数の一塩基多型(SNP)が見付かっています、ゲノム情報は血統情報よりも正確で、複数のSNPが連続してホモ化している領域(ROH)を利用して黒毛和種の近交度をゲノム情報のみで高い精度で評価できることが可能になりました。

資源循環型肉牛生産シンポジウム 2023

転載・再利用は固くお断りします

話題提供2.産地の挑戦・国産飼料から地域飼料へ「耕畜連携で地域の畜産を守れ」
アンガス牛による自給飼料中心の牛肉生産 4回シリーズ①
北海道子実コーン組合 日本メイズ生産者協会　宮北牧場　宮北輝代表





	飼料
育成放牧期	母乳・牧草(青草)・乾草などが中心
育成期	乾草・グラスサイレージ・デントコーンサイレージ・子実コーン・おからなどが中心
肥育期	乾草・デントコーンサイレージ・ポテト粕・ビール粕・子実コーンなどが中心